



長走風穴種子貯蔵庫遺構（秋田県大館市）

〔提供：米代東部森林管理署〕

明治から昭和初期にかけて、東北地方の造林事業を支えた造林用種子貯蔵施設で令和4年に日本の林業遺産に認定・登録されました。



特集コーナー	2
使える！ 行政情報& 研究・技術の参考情報	3
地域発NEWS	4~7
地域のこの人	8
国有林野所在 市町村の魅力紹介	9
管内の見どころ紹介	10~11

白神山地合同パトロール 一日巡視員募集の取組

計画課

東北森林管理局では、白神山地世界遺産地域の巡視活動及びマナー啓発活動を行う巡視員の後継者確保のため、合同パトロール一日巡視員を募集する取組を行っています。

白神山地世界自然遺産地域では、貴重な自然を後世に伝えるため、関係機関（東北地方環境事務所、東北森林管理局、地方自治体等）からなる白神山地世界遺産地域連絡会議として、遺産地域や周辺地域において、巡視活動及びマナー啓発活動を行っています。

広大な遺産地域でこれらの活動に取り組むため、東北森林管理局では、民間ボランティアとして白神山地世界遺産地域巡視員を委嘱し、巡視活動及びマナー啓発活動を担っていただいています。

また、年に2回程度、白神山地世界遺産地域巡視員、GSS（グリーン・サポート・スタッフ（森林保護員））、関係機関等が参加し、青森県側、秋田県側のそれぞれにおいて合同パトロールを実施しています。

しかしながら、近年は巡視員の高齢化が進み、巡視員を辞退される方も出てきている状況にあります。白神山地に関心を持つ人材を育成し、その後継者を確保することが重要であるため、令和6年度第2回目の合同パトロールから、東北地方の大学生等を対象とした「白神山地合同パトロール一日巡視員」を試行的に募集したところ、地元の弘前大学の学生等に参加いただき、参加者や関係者からも好評を得ているところです。

2年間の試行的募集も踏まえ、白神山地に興味を持つ人材の育成と巡視員の後継者の確保に向けた取組を強化するため、今年度は、募集対象を東北地域に限定せず、さらに学生以外の一般の方も対象として年齢の上限も引き上げ（60歳以下）ることとしました。令和8年度の白神山地合同パトロールの予定日及び募集コース・募集人数は、次のとおりですので、興味のある方はぜひ東北森林管理局計画課までお問合せください。

【第1回合同パトロール】

青森県側：7月4日（土） 募集人数6名
高倉森コース、白神岳コース

秋田県側：7月4日（土） 募集人数4名
藤里駒ヶ岳コース

【第2回合同パトロール】

青森県側：9月18日（金） 募集人数6名
高倉森コース、白神岳コース

秋田県側：9月26日（土） 募集人数4名
藤里駒ヶ岳コース

注）大雨等で変更又は中止となる場合があります。



高倉森山頂（参加した大学生等と記念撮影）



白神岳山頂



藤里駒ヶ岳山頂

お問合せ先：計画保全部 計画課

Tel：018-836-2489 応募方法はこちら→



使える!

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

林野庁採用情報 (一般職・大卒程度)のお知らせ

林野庁では、国家公務員一般職試験者（大卒程度試験）を対象に様々な採用活動を行っております。林野庁への入庁へ興味のある方は是非ご参加ください。

○官庁合同業務説明会

林野庁では業務説明のほか、先輩職員との懇談も予定しています。

開催日：6月29日（月）

場 所：フォレスト仙台（宮城県仙台市）

対象者：国家公務員一般職試験一次合格者等

※詳細は人事院東北事務局サイトにて掲載。

○官庁訪問

官庁訪問は、希望省庁から採用されるための重要なプロセスですので、林野庁（東北森林管理局）を志望されている方は必ずお越しください。

開催日及び場所：

①7月2日（木）・3日（金）・28日（火）

仙台森林管理署（宮城県仙台市）

②7月6日（月）・7日（火）・29日（水）

東北森林管理局（秋田県秋田市）

対象者：国家公務員一般職試験（大卒程度試験）

行政区分受験者

※技術区分受験の方は林野庁本庁で行います。

※官庁訪問の詳細は後日ウェブ掲載いたしますのでご確認ください（6月中旬頃掲載予定）。



過去の官庁合同業務説明会の様子



人事院
東北事務局

ご関心のある方は、東北森林管理局総務課人事係
(TEL:018-836-2014)へお問合せ下さい。

スギ・カラマツ等の優良種苗の 次世代化に向けて

東北育種場では、森林の多面的機能の持続的発揮や林業の持続的かつ健全な発展に向けて、主要な造林樹種であるスギやカラマツ等を中心に、成長や材質、気象への抵抗性、花粉量等の特性について遺伝的に優れた個体の選抜と普及に取り組んでいます。

成長や通直性等の特性が優れた個体として既に「精英樹」が選抜されていますが、現在、スギにおいては、特定母樹に指定された第2世代精英樹（エリートツリー）等を親とした苗木を育成し、それらの遺伝的特性を評価するなど、第3世代精英樹を選抜するための取組を進めています。

令和7・8年度には、第3世代精英樹を選抜するための試験林として、秋田・山形県内の国有林内に3箇所の「検定林」を設定しました。

今回の検定林設定にあたっては、現地作業や苗木管理の省力化・効率化を図るため、ドローンで撮影した航空写真を活用した植栽区域の設計や、スマートフォンのGPSや高精度GNSSを利用した位置情報の確認、二次元コードラベルによる苗木配置のデータ化等、デジタルツールの活用に積極的に取り組みました。

今後もこれまで積み上げてきた知識・経験、新たな技術を活用しつつ、今回新たに設定した検定林での成長調査等を通してスギ、カラマツ等の優良種苗の次世代化を進めていきます。



秋田県仙北市の国有林に設定した検定林（左）と
二次元コードラベルを付けた苗木の植栽後の様子（右）

ご関心のある方は、森林総合研究所 林木育種センター東北育種場 (TEL:019-688-4518)へお問合せ下さい。

地域発NEWS

(治山・林道事業の取組)

各(支)署・センターでは、集中豪雨や台風等により被災した山地の復旧整備、機能の低下した森林整備等を推進したり、森林の整備・保全や林産物の供給等を効率的に行うための路網整備を推進したりしています。

アプリを活用した山地災害復旧の迅速化

青森

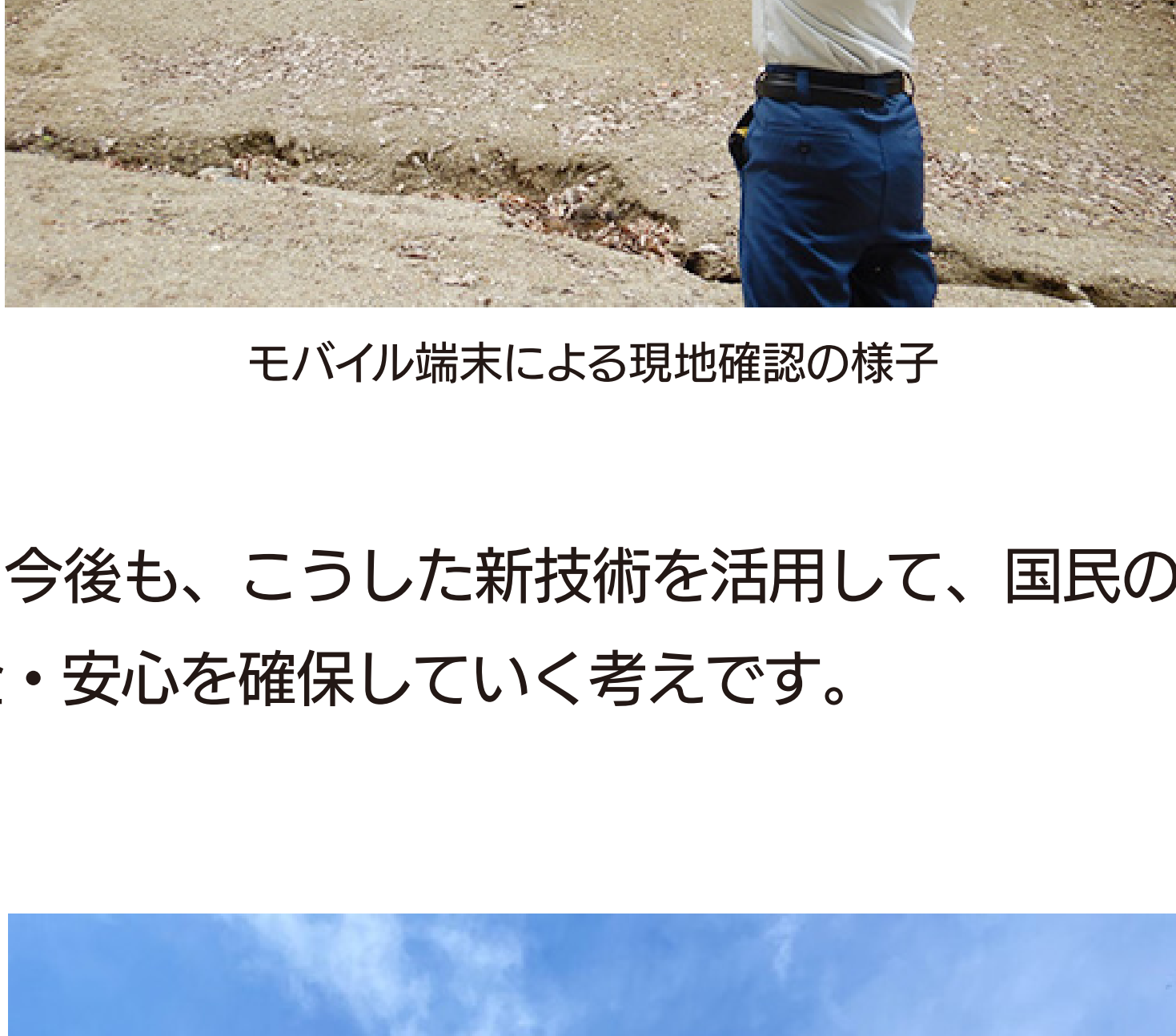
津軽森林管理署

近年、気候変動の影響によって大雨が激化し、山地災害が頻発するようになってきました。山地災害が発生した際には、国民の安全・安心のため早急に治山事業による復旧に取り組む必要があります。そして、そのためには被害状況を早期に、かつ正確に把握することが不可欠です。

このことを踏まえ国有林では、山地災害の発生時には現地調査に加え、ヘリコプターによる被害調査を実施するとともに「山地災害調査アプリ」を活用することとしています。

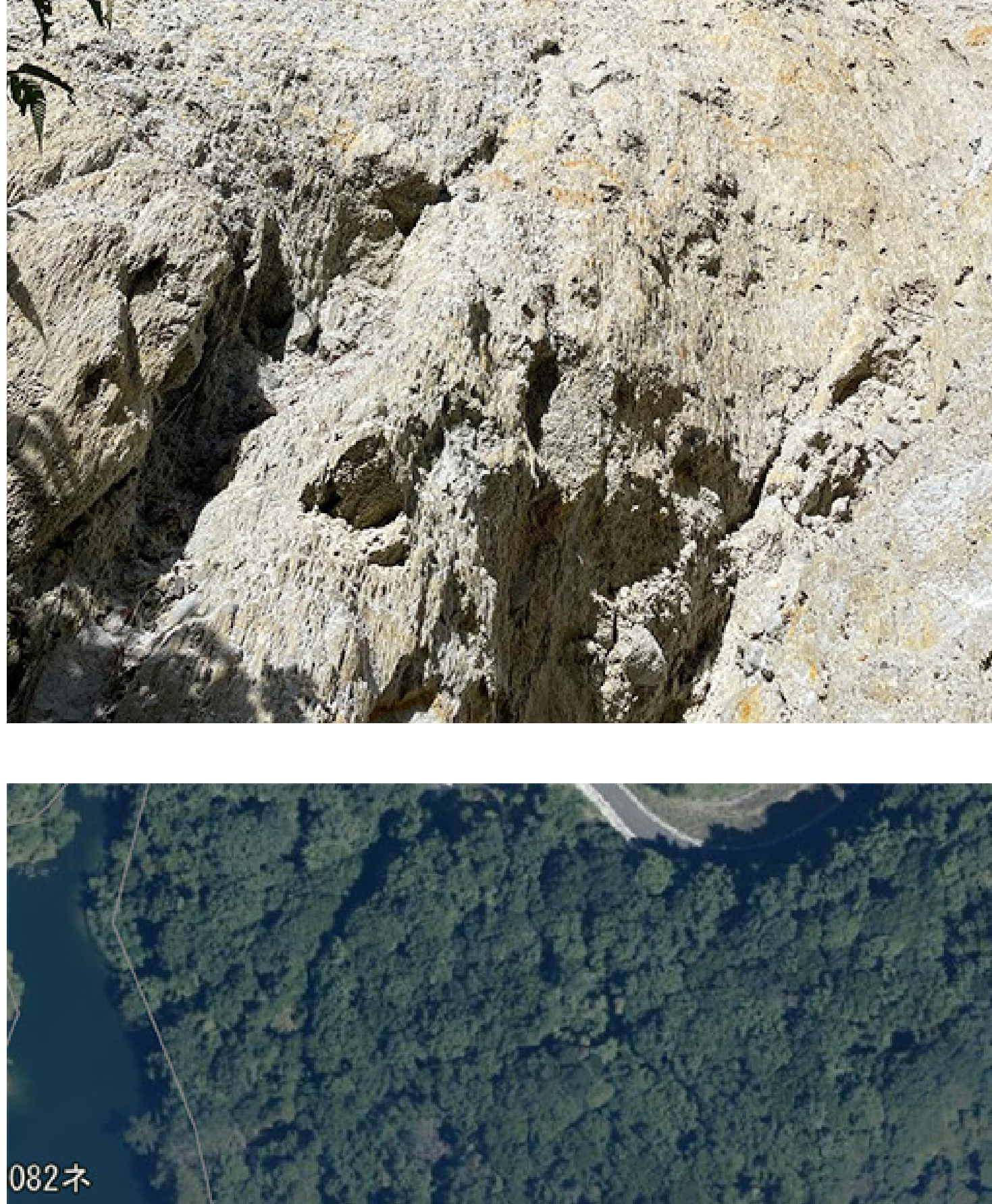
このアプリでは、現場職員のモバイル端末を通じて、撮影した写真、その撮影方向や位置、飛行ルート等の調査結果を、森林管理署の職員がリアルタイムで確認できます。これまでは、現場で取得したデータを持ち帰り、職場のパソコンでこれを整理していました。このアプリによって、調査のとりまとめ作業は大幅にスピードアップし、その正確性も期待できるようになりました。

右の写真は、令和7年度に津軽森林管理署がこのアプリを活用して実施した深浦地区の山地災害の調査結果の実例です。現地写真が撮影された際の位置と方角が矢印マークで衛星画像上に表示されています。



モバイル端末による現地確認の様子

今後も、こうした新技術を活用して、国民の安全・安心を確保していく考えです。



災害箇所の現地写真(上)と調査結果(下)

地域発NEWS

(森林整備等の取組)

各(支)署・センターでは、植栽、保育、間伐等の森林整備を適切に行うことで、健全な森林を造成し、資源の循環利用を推進したり、地域の木材の安定供給体制を構築するため、製材・合板工場等の需要者と協定を締結したりしています。

青森ヒバと少花粉スギで進める次世代の森林づくり

青森

津軽森林管理署金木支署

津軽森林管理署金木支署では、地域の貴重な森林資源である青森ヒバを次世代へつないでいくため、管内の国有林において青森ヒバの再造林に取り組んでいます。青森ヒバは、耐久性や防虫性に優れ、古くから建築材などとして利用されてきた、青森県を代表する樹種です。

植栽に当たっては、根鉢を有するコンテナ苗を活用しています。コンテナ苗は、植栽時の根の損傷が少なく、活着率が高いことから、安定した成長が期待される苗木です。また、植栽できる時期の幅が比較的広いことも特徴の一つです。青森ヒバのコンテナ苗に加え、花粉症対策として、花粉の少ない特性を持つ少花粉スギのコンテナ苗についても、管内の造林地で導入しています。

近年、伐採後の更新や成林までの保育管理には、多くの労力や費用を要することから、再造林の低コスト化や省力化が重要な課題となっています。こうした状況を踏まえ、当支署では、効率的で持続可能な造林手法の導入を進めています。

また、植栽後の保育作業として下刈作業を実施していますが、下刈は再造林に必要な費用の中でも大きな割合を占める作業です。加えて、真夏の炎天下で作業を行うことから体力消耗が激しく、敬遠されることもあります。このため、労働負担の軽減とコストの削減を図るために、苗木の列の間を筋状に刈り払う筋刈の導入を進めています。

今後は、市町の林務担当者を対象とした林業技術支援検討会を計画しており、コンテナ苗の植栽状況や筋刈による下刈作業について、実際の現場を確認しながら意見交換を行う予定です。造林作業の進め方や課題について共有し、地域全体の林業技術の向上に繋げていきたいと考えています。

当支署では、今後も青森ヒバや少花粉スギを中心とした森林資源の充実を図るとともに、市町との連携を深めながら、持続可能な森林づくりに取り組んでいきます。



ヒバ植栽の様子



ヒバコンテナ苗の様子



少花粉スギ植栽地の様子



筋刈箇所の空中写真

地域発NEWS

(病虫獣害対策・森林生態系保全等への取組)

各(支)署・センターでは、希少な高山植物や生態系への脅威となる深刻な病害虫や動物による森林被害への対策を推進したり、森林生態系の保全・管理や自然再生、希少な野生動物の保護等をしてしています。

「海岸防災林」を失わないために

秋田

由利森林管理署

由利森林管理署管内には、日本海沿いにクロマツ林を主体とした「海岸防災林」が広がっています。

「海岸防災林」とは、海からの強風による潮害・飛砂・風害を防ぐために造林された林で、長年由利地域の人々の暮らしを守ってきました。近年、そのクロマツ林が、「松くい虫被害」により、再び、甚大な被害に見舞われています。

「松くい虫」の名前は、耳にされた方もいるかと思いますが、実際には「松くい虫」という名前の虫はいません。正式には、「マツ材線虫病」といい、「マツノザイセンチュウ」と呼ばれる線虫(以下、「線虫」と略)が、「マツノマダラカミキリ」(以下、「カミキリ」と略)という虫に運ばれる共同作業により被害が発生します。線虫はマツに侵入すると、水分を行き渡らせる道管の中で増殖して、水分の吸収を防ぎ、水分の吸収ができなくなったマツは、衰弱して枯れていきます。

この「松くい虫被害」をこれ以上拡大させないために、当署では、「薬剤散布」と「特別伐倒駆除」の二つの対策を行っています。

「薬剤散布」では、クロマツ林に薬剤を散布することにより、羽化したカミキリの成虫を駆除する効果があります。「特別伐倒駆除」では、被害木を伐り倒して、細かく破砕することにより、カミキリの幼虫を駆除し、運び屋を減らす対策です。どちらも健全なマツへの被害が広がらないよう行っています。

「松くい虫被害」を受けたクロマツ林は、国有林以外の森林でも同様にあるため、県・市と連携を取りながら、地域の「海岸防災林」を守るために活動しています。

また、防除対策とは別に、ボランティアによる「松くい虫被害に抵抗性のあるクロマツ」の植樹等を行っています。これは、企業と協定を結び、森林活動のフィールドとして国有林を提供し、自然環境に対する理解向上を目的として行われているものです。植樹等を通して「松くい虫被害」の現状を地域以外の方へ知ってもらおう機会になることを願っています。

それに加えて、当署では、学生への「森林教室」の際に、職員が作成した「松くい虫被害」についての動画学習の機会を設けています。これは、「松くい虫被害」を地域に生活する学生に知ってもらえる貴重な時間であると考えています。

この地域を守ってきた「海岸防災林」を失わないために、「被害の拡大を防ぐ対策」や「松くい虫被害への理解や学びの場の提供」などの活動を今後も行っていきます。



日本海沿いに広がる海岸防災林



松くい虫被害木



薬剤散布の様子

地域発NEWS

(ふれあい・管理・総務等の取組)

各(支)署・センターでは、森林環境教育のプログラムの整備やフィールドの提供などによる「森林環境教育」の取組を推進したり、観光資源としての活用等を通じて国民に開かれた管理経営を推進したり、地域産業の振興や住民の福祉の向上等に貢献するために、地元住民等に対して国有林野の貸付を推進したりしています。

天然秋田スギ林内の自然を体感

秋田

米代西部森林管理署

にぶなみずさわ

「仁耐水沢スギ植物群落保護林」は林齢200年を超え、高さ50m、太さ100cmを超える巨木が立ち並ぶ天然秋田スギ林です。その中には「きみまち杉」と呼ばれる高さ58m太さ164cmのスギがあり、1996年に「日本一高い杉」として当時の秋田営林局によって宣言されました。現在は、京都府京都市花脊の大悲山国有林にある「花脊の三本杉(62.3m、60.7m)」、愛知県新城市鳳来寺山にある「傘杉(約60m)」に次ぐ、日本で4番目に高い杉とされています。

当署では毎年、地元の能代市立二ツ井小学校の3年生を対象に保護林内を散策する森林教室を開いています。昨年9月には28名の生徒と保護林内の見学を行いました。天然林と人工林の違いを感じてもらうため、はじめに保護林に隣接する64年生の人工林を見学を行いました。人工林の平均樹高22mのスギに驚いていた後にその2倍以上の高さを持つ保護林内の巨木を見て生徒たちは首を大きく上に向けながら驚きの声を上げていました。また、見学途中の説明では、木造校舎である二ツ井小学校で使われている木材の16棟分もの木材が保護林内にあることや、スギの倒木上から生えた稚樹が数百年後には周囲のような巨木になることに対して、「すごい」といった声や「ホントに?」という疑問がたくさんあがっていました。ほかにも保護林内にはカエルやオニヤンマ、イワナなど街中では見られない生き物を見つけたり、林内の涼しさを体感したりと散策を満喫していました。

今後も地域の子供たちが地元の自然とふれあいをおして森林・林業に興味もってもらえるような森林環境教育に取り組んでいきます。



巨木が立ち並ぶ林内



参加した二ツ井小学校3年生



輪尺を用いて木の太さを確認



スギの倒木から生育するスギの稚樹

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」や森林
管理署等で働く人の紹介です。

青森の森林と所有者を守る「森林保険」

青森

青森県森林組合連合会
管理部指導課主任 工藤 怜生さん

青森県の森林面積は約63万haで、県面積の約65%にあたります。このうちスギに関しては、全国で4位の人工林面積を有しています。青森県南西部に位置する白神山地では、ブナの蓄積量が全国1位を誇り、人為的影響をほとんど受けていないとされ、1993年12月に日本で初めて世界遺産に登録されました。また、県木に指定されている青森ヒバは、日本三大美木のひとつとして位置づけられ、害虫や菌、湿気に強いことから木材としての利用や、リラックス効果のある香りが注目されています。このように、本県には豊富な資源と景観に優れた森林が存在し、地域の支えになりたいと思い就職活動をしていた私にとって、内定が決まった時はうれしく思いました。

私の仕事は、山火事など森林の被害に備える森林保険業務です。森林保険の役割として、近年特に気候変動による自然災害が多いので、森林の所有者を守る唯一の手段と考えています。本県で多い自然災害は雪害です。降雪量だけではなく雪質や気温にも左右されるので、対応が難しい自然災害となっております。保険金をお支払いしたご契約者様からは、森林保険に加入していてよかったと感謝されることも多く、大変やりがいのある仕事です。

本県の豊かな森林を守り、後世に引き継ぐために、みなさんも林業で働きましょう。



業務の様子

国有林の現場で活躍していきたい

岩手

三陸北部森林管理署
主事（治山担当） 伊藤 天馬さん

私の働く三陸北部森林管理署は、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村の国有林野約6万7千haを管理しています。管内には日本百名山に選ばれている早池峰山や断崖が連なる海岸線が美しい北山崎と本州最東端の鮭ヶ崎とどがさきなどがあります。

採用から2年目となりますが、保安林として適切に森林を管理、整備することや、治山工事により、山地災害の復旧、森林を造成するなど、治山業務も大切な役割があることを理解しました。実際の治山工事現場も施工から完成まで上司に同行し業務に携わっていましたが、荒廃した渓流や崩壊地に治山ダムなどを設置することで、土砂崩れや流出を防止し、下流にある人家や道路などが守られていることを実感しました。今は山地災害から地域の暮らしを守り、安心して生活できる森林づくりを支える治山の業務にやりがいを感じています。

そのほか職場内研修として、植付や下刈などの造林事業、立木の収穫調査や森林整備事業で生産された丸太の販売、国有林の境界の管理、署のイベントや森林教室などに参加しました。現場での実務を通して経験を積み重ね、これからも、豊かな自然と地域をつなぐ架け橋として、国有林の現場の最前線で地域に貢献できるよう努力していきます。



宮古市重茂半島にある鮭山国有林の現地調査
(鮭ヶ崎灯台付近(本州最東端)での著者)

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。



青森県下北郡大間町

しも きた ぐん おお ま まち

下北森林管理署

人口 4,484人 (R8.4.1現在) 面積 52.10km²

市町村の木 クロマツ 市町村の花 ハマナス

北海道の山並みを北に仰ぎ、津軽海峡の雄大な自然に抱かれた大間町は、青森県下北半島北部に位置し、津軽海峡を隔て北海道との最短地点である函館市汐首岬とは約17.5kmに位置する漁業を中心とした町です。

大間町では、マグロ、ウニ、コンブなどの海藻類などが多く水揚げされています。なかでも「大間マグロ」は高値で取引され、2026年の東京・豊洲市場の初競りでは、5億1,030万円もの値がつかしました。また、水産業は「大間マグロ」だけでなく、様々な水産資源の知名度や付加価値の向上に努め、ナマコ・アワビの放流など、「つくり育てる漁業」の推進を図っています。



本州最北端 大間崎

そんな漁業が盛んな大間町で行われているのが、毎年海の日に行われている「大漁祈願祭」。海上操業の安全と豊漁を祈願し、色とりどりの大漁旗をひるがえし、多くの漁船が海へと繰り出していきます。併せて行われる天妃様行列は、日本と台湾の文化が融合した異国情緒たっぷりの神事です。



天妃様行列

大間マグロの知名度に追いつけ追い越せと、黒毛和種の「大間牛」を約80頭飼育しています。最高等級ランクにも評価されることもあることから「陸マグロ」と呼び、平成29年には「陸マグロ」を商標登録し、大間マグロに次ぐブランド化を目指し取り組みを進めているところです。



大間牛「陸マグロ」

農業では、全国的に希少となった馬鈴しょ品種「三円薯」を栽培し、「オコッペいもっこ」の商品名で販売しています。イオンリテール(株)と提携し、全国へ向け販路を拡大し、知名度の向上を図っています。



オコッペいもっこ

より詳しい市町村の魅力はこちらから→



お問合せ先：大間町役場産業振興課

Tel.0175-37-2537

庄内地方の魅惑的な生き物たち

朝日庄内森林生態系保全センター 生態系管理指導官

有本 実

引越を伴う異動はなかか大変ですが、野生生物の観察と撮影をライフワークにしている私にとっては、新天地で新たな生き物に出会える転勤は楽しみなイベントです。一昨年から山形県鶴岡市に移住しましたが、ここ庄内地方で私的に出会った魅惑的な生き物を2種、ご紹介します。

まず1種目は、朝日山地の標高約960mに位置する山上湖・大鳥池に生息するタキタロウです。“体長2mを越す幻の巨大魚！”などと称されますが、過去の様々な資料を紐解けば、体長40～70cm程の見た目の変わった魚もタキタロウとして扱われていたようです。「捕って食べたらうまかった」という体験談も複数存在することから、タキタロウは幻ではなく実在するはずです。

これは釣って確かめなくては、と何度も大鳥池で竿を振ってきましたが、釣れるのは様々な体色のイワナばかりです。中でも特に多いのは下の写真のように白い斑点が大きいタイプで、亜種のエゾイワナと思われます。エゾイワナは海に下ると80cm程にまで巨大化してアメマスと呼ばれます。

これは私の憶測にすぎませんが、タキタロウの正体は大鳥池を海に見立ててアメマス化したエゾイワナでは？と考えています。一方で「幻は幻のままであってほしい」とも願いつつ、今年もタキタロウを狙いに大鳥池に向かいます。



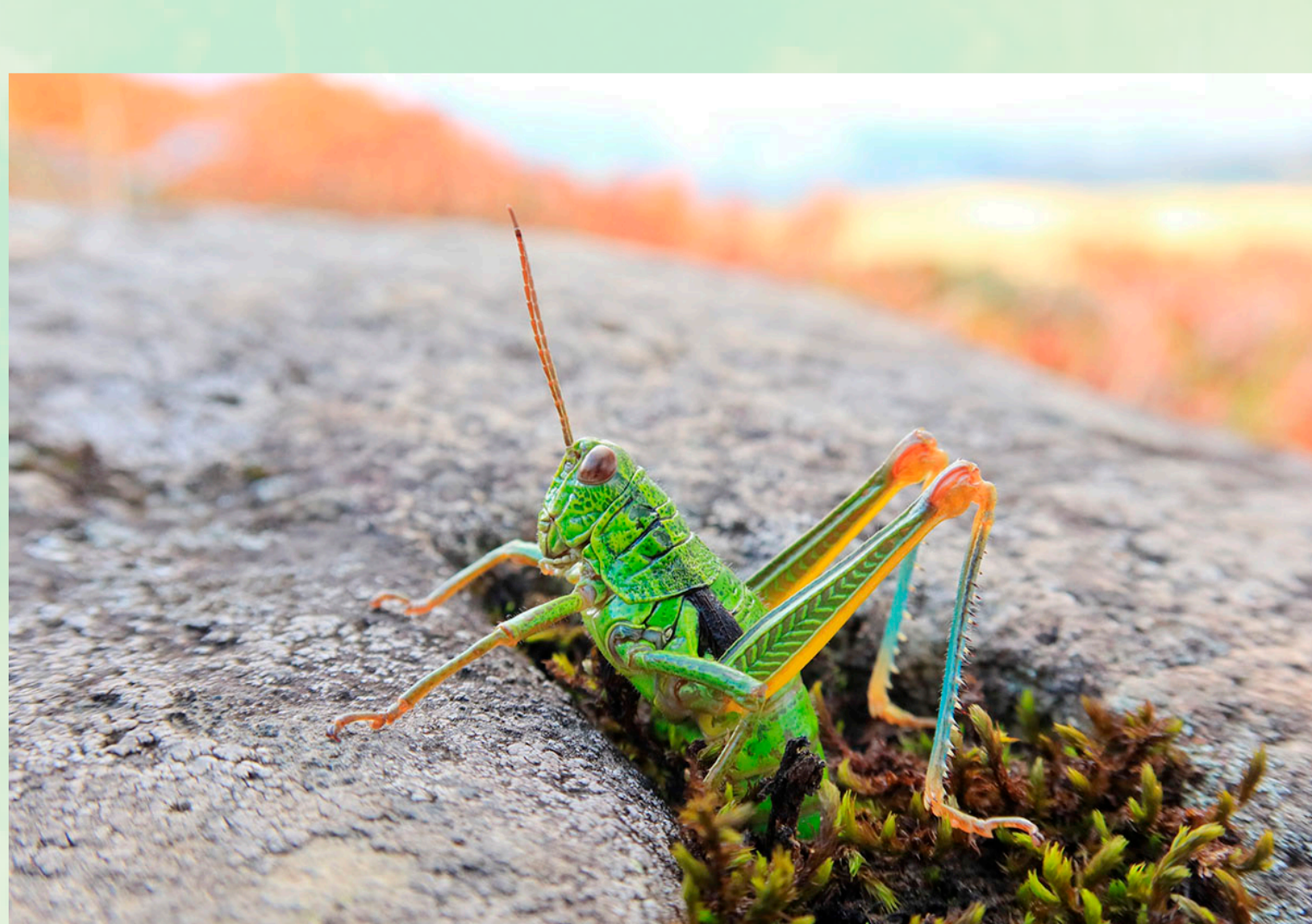
タキタロウの幼魚?と思われるイワナ39cm♂
(2025.8.2 山形県鶴岡市 大鳥池)

さて、魅惑的な生き物の生息地=私にとっての魅惑的な山でして、大鳥池は周囲のブナ林が白神山地並みに素晴らしく、実は山形に移住する前から何度も足を運んでいます。同様に何度も登っている魅惑的な山が月山で、山頂の月山神社に至る参詣道沿いの広大無辺な景観は圧巻です。紅葉最盛期には、全国各地から登山者が訪れます。

2種目の魅惑的な生き物は、そんな月山で紅葉狩りを楽しむ登山者の足元で跳ねる山地性のバッタで、その名もハヤチネフキバッタと言います。フキの葉を好んで食べるフキバッタの仲間は日本に30種程が生息していますが、ハネナガフキバッタ以外は全て羽が極端に短くて、飛翔できないのが特徴です。移動範囲が狭いため各地域で独自の種に分化していて、例えば紀伊半島にはキイフキバッタ、四国にはシコクフキバッタ…といった具合に、その地域の名前を冠した“ご当地バッタ”が数多く存在します。

そしてここ、東北地方の高標高域に生息するご当地バッタがハヤチネフキバッタです。魅惑のポイントは、種名に“早池峰”と冠していながら、早池峰山のみならず東北の名だたる山にはまず生息していて、登山中に「ここでも会えたな」と再会を果たすような気持ちにさせてくれること。そして何より本種はフキバッタの中でも特に色鮮やかで、蛍光色のような黄緑色の体+後足の青いスネが魅惑のチャームポイントです。

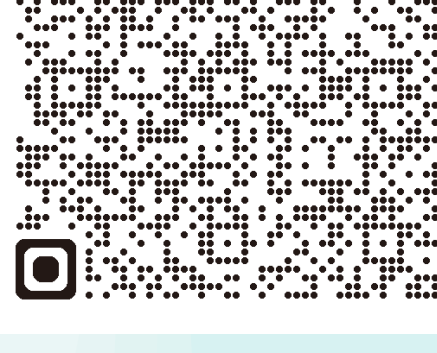
下の写真は参詣道脇の岩の窪みに溜まった土に産卵しているメスで、背景の赤色はミネカエデの紅葉、黄色は行者ヶ原の草紅葉です。錦秋の月山に登られる際は、ぜひ足元にも視線を向けてみましょう。極彩色の魅惑のバッタが、後世に命を繋ぐ最期の大仕事をしているかもしれません。



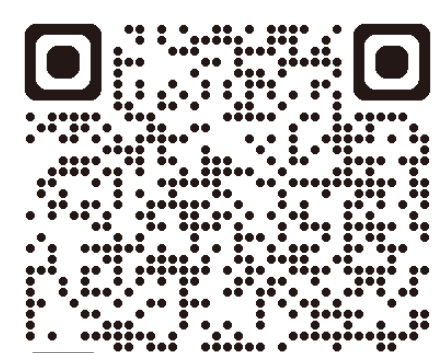
産卵中のハヤチネフキバッタ♀
(2025.10.3 山形県庄内町 オモワシ山付近)

国有林野の管理経営に関する ご意見・ご要望をお寄せください

国有林の役割や業務、森林・林業について理解を深めていただくとともに、皆様のご意見・ご要望を今後の国有林野事業の運営に役立てるため、管内5県（青森、岩手、宮城、秋田、山形）にお住いの成人の方を対象に、国有林野事業に関するアンケート調査を行います。



回答はこちらから



東北森林管理局の取組

令和8年度第1回白神山地世界遺産 地域巡視員会議を開催しました

令和8年度第1回白神山地世界遺産地域巡視員会議が、6月1日（月）に青森県側で、3日（水）に秋田県側でそれぞれ開催されました。

会議には、両県の巡視員及び関係機関から計67人が出席し、白神山地世界遺産地域の適切な保全管理の推進ならびに効果的な巡視活動の展開について意見交換が行われました。



会議の様子（左：青森県側、右：秋田県側）

イベント情報

白神山地合同パトローラー日巡視員募集

当局では、白神山地世界遺産地域の巡視活動及びマナー啓発活動を行う「合同パトローラー日巡視員」を募集しています。

詳しくはP3の特集記事をご覧ください。

採用情報（一般職・大卒程度）

林野庁への入庁を希望する国家公務員一般職試験者の方を対象に、業務説明会や官庁訪問を行います。

詳しくはP4の行政情報をご覧ください。

お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800	
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131	
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131	
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551	
	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931	
岩手県	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022	
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	
	三陸中部署	大船渡市盛町字津野沢7-5	☎0192-26-2161	
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001	
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131	
宮城県	遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670	
	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074	
	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111	
	秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
		秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
湯沢支署		湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164	
由利署		由利本荘市水林439	☎0184-22-1076	
藤里センター		山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003	
山形県	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331	
	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161	
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122	
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246	
	朝日庄内センター	鶴岡市末広町23-37	☎0235-26-1841	

東北森林管理局

〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.267

●発行日/令和8年6月

●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>

